

中国四国支部 おもしろワクワク化学の世界'11香川化学展

はじめに

中国四国支部では1993年(平成5年)から毎年、(財)徳山科学技術振興財団の協力を得て化学展を実施している。本年度は初めて香川地区で開催することになった。

ポスターのキャラクターに採用した香川出身の天才発明家平賀源内は、エレキテルの実験だけでなく、芒硝(硫酸ナトリウム)や石綿を採取し、金、銀、銅山の開発を手がけるなど化学に関する業績も多数残している。香川化学展では「化学」だけでなく、広く科学(サイエンス)にかかわる内容も展示・実演することにした。



ポスター(2種類作成)

サイエンスへの素朴な疑問や好奇心を感動につなぐ機会を提供できるよう、またサイエンスを通してよりよい社会について考える一助としていただけるよう、いろいろなプログラムを用意した。平成23年8月26日(金)～8月28日(日)



会場の様子

に、高松天満屋で開催した。香川県下の幼稚園児から小中高、地域の方々を対象に27講座を開設した。

実施実験、掲示の内容

おもしろワクワク化学展は、藤原照文日本化学会中国四国支部長大会委員委員長の下、香川大学教育学部、医学部、農学部、工学部、産業技術総合研究所、徳島文理大学香川薬学部、(株)トクヤマ関係者が協力してブース出展を行った。高松市を含む14団体から後援を、10団体から協賛をいただいた。実施したブース内容(タイトル)を紹介する。

1. 植物の不思議(植物のDNA観察)
2. 希少糖(1)(希少糖の試食)
3. 希少糖(2)～糖尿病や肥満へのはたらき～
4. カラフルスライム
5. ターメリック試験紙を使おう
6. 食品の匂いを当てよう
7. 人工イクラを作ろう
8. 磁性イオン液体で遊ぼう

9. 綿菓子メーカー作成
10. きれいな結晶
11. これまでの発電、これからの発電
12. ガラス玉で顕微鏡を作ろう
13. カメラ焼きを作ってみよう
14. 塩水で燃料電池を作ってみよう
15. 身の回りの放射線(放射能)
16. 分子を作ってみよう、見てみよう(分子模型作成体験)
17. 音楽生演奏と楽器づくり
18. 窓ふきロボット実演
19. 香川衛星宇宙機の展示解説
20. 「触って」感じるディスプレイ
21. 光と色の不思議な世界(レーザーを用いた実験・簡易分光器作成)
22. 自然の中の液晶(液晶分子合成)
23. 液晶分子観察
24. ふわふわシリコーンを作ろう
25. -196°C の世界を体験しよう!
26. 化学発光(ルミノール反応)を体験
- 26-1. (番外体験:お菓子の処方せん)
27. 模型で見る四国の鉄道

3,700名という予想を上回る参加者で大盛況のうちに会を終えることができ、天満屋からも今後の継続依頼をいただいた。これもご支援いただいたすべての皆様のおかげであり深謝している。

【おもしろワクワク化学の世界'11実行委員長
高木由美子(香川大学教育学部)】

©2012 The Chemical Society of Japan